

安心の設計

お便りは、
メール iryou@yomiuri.com
ファクス 03・3217・1960

乳がん 同時再建手術が増加

乳がんは、女性が最も多くかかるがんだ。今年新たに乳がんと診断される人は8万6500人と予測されている。一方、乳がんで亡くなる人は1万4800人と推計され、女性では大腸や肺などに続いて5番目。

130件以上の病院(該当がない県は最多の病院)を掲載。全摘と人工乳房の再建を一緒に行う同時再建手術の件数や、再発リスク、遺伝性乳がん・卵巣がんの可能性を調べる検査体制の有無も示した。

は、手術後に必要な治療を考えるのに役立つ。保険が適用されないため、自費で約40万円かかる。

に、がんになっていない側の乳房を切除する手術を強く推奨するとした。遺伝子検査に対応できる医療機関が増えており、早期診断が可能になってきた。検査は自費で約20万〜30万円かかる。

ただ、検査結果が家族ら

病院の実力

194

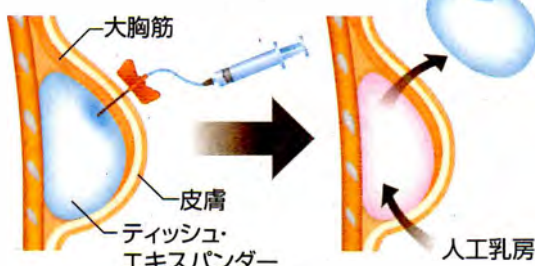
早期に発見し、適切な治療を受ければ、命を落とさずに済むことが多いがんとも言える。

読売新聞は4〜6月、がん診療連携拠点病院や関連学会認定施設など1505施設に、2017年の治療実績などをアンケート調査した。612施設から回答を得た(回答率41%)。一覧表には、手術件数が

手術は、手術後に放射線治療を行うのが基本だ。人工乳房による再建手術が保険適用になった13年以降、同時再建手術を選ぶ患者も増えている。

がん細胞を詳しく調べ、再発リスクを予測する検査

人工乳房を使った同時再建手術



①乳房切除後、皮膚や筋肉を伸ばす器具(ティッシュ・エキスパンダー)を入れ、生理食塩水を約半年かけて注入する

②ティッシュ・エキスパンダーとシリコン製の人工乳房を入れ替える

予防切除「強く推奨」学会が指針

に関係する場合もあり、患者の精神的な負担は大きい。遺伝子検査や治療の内容、周囲への対応などについて、説明や相談を通じて患者を支援する遺伝力ウシセリングが大切だ。

治療の選択肢が広がる乳がんだが、鏡で乳房の変形や左右の違いを見たり、指で触ってしこりがないか確認したりするなど、普段から自分でチェックすることも重要だ。

昭和大学乳癌外科教授の中村清吾さんは「まずは主治医とよく相談し、自分のがんの状況と、適した治療を理解することが大切。納得のいく治療を受けるために、セカンドオピニオン(別の医師の意見)の利用も役立つ」としている。

(安藤奈々)

次回(11月21日予定)は

膝関節の治療

①全手術（件）②うち同時再建手術（件）③再発リスク検査の可否
④遺伝性乳がんの遺伝子検査の可否（18年4月時点）

「国・」は国立病院機構、「地・」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック。「一」は無回答または不明。※藤田医科大は藤田保健衛生大から名称変更